

1人1台端末を活用した授業改善

～「協働的な学び」「個別最適な学び」の実現を目指して～

1 研究主題設定の趣旨

本校では、令和2年12月に1人1台端末「Chromebook」が導入された。それ以前にも1人1台端末が配備されていたこともあり、児童にとって端末は非常に身近なものである。しかし、その機能の高さと多様さに影響され、「ただ端末を楽しく使って終わる授業」「どんなめあてを達成するのが不明確な授業」になってしまうこともあった。あくまでも目標を明確にし、より良い問いを考え、より良い場において端末を有効に活用することが大切である。

昨年度は、1人1台端末を活用した授業改善に向け、職員を「情報スキルアップチーム」「協働的な学びチーム」「個別最適な学びチーム」「情報活用能力年間計画チーム」という4つのチームに分け、研究を進めてきた。全員がチームに配属されたことで、各々が自分事として研究に参加することができた。8月に行った発表会では、それぞれのチームで得た情報や知識、授業実践事例等を紹介し合い、9月以降の授業実践に役立てた。授業実践においては、教科の様々な場面で「スライド」「Jamboard」等のアプリを活用し、アプリの特徴や強みを把握、活用することができた。また、年度末には冊子「タブレットを活用した授業実践事例集」を作成し、授業におけるアプリの使用事例を学年ごとにまとめることもできた。

今年度は、昨年度に引き続き、「情報スキルアップチーム」を中心に、タブレットの使い方や授業実践例などの勉強会を行い、職員のスキル向上を目指す。また、昨年度の「協働的な学びチーム」と「個別最適な学びチーム」を合わせて「授業改善チーム」とし、低学年部・中学年部・高学年部・特別支援部に分かれて、「協働的な学び」「個別最適な学び」を取り入れた授業改善について研究を進めていく。「情報活用能力年間計画チーム」は、情報モラルについてのルールを明確にし、学校全体に共有する「情報モラル担当」と、授業実践事例を収集する「事例収集担当」を作る。スキルとして獲得した各種アプリを、有効な道具として活用しながら、「協働的な学び」「個別最適な学び」の実現に向けて授業改善に取り組んでいきたい。